

2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～集計表

団体名	防災担当者数	防災に関する会議		防災活動、資機材配備等の実施					消火資機材の配備						
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器	
										数量	場所	数量	場所	数量	場所
下代田東町会	38	○		下代田東町会 防災部	6	○		○		3	町会内	1	町会防災倉庫	30	町会内
代沢2丁目北町会	5		○			○		○		2	池小町会防災倉庫、 池ノ上青少年会館	1	池小町会防災倉庫		
代沢中町会	47	○		代沢中町会 防災会議	3	○		○		3	代沢中町会防災倉庫	2	代沢中町会防災倉庫		
下代田西町会	11	○		下代田西町会 防災会議	2	○		○		3	防災倉庫、会長宅 他	1	防災倉庫	3	町会専用 防災倉庫
代沢4丁目西町会	4		○			○		○		4	町内適宜				
代沢五丁目町会	8	○		代沢五丁目町会防災懇談会	1	○		○		3	代沢五丁目町会 倉庫				
代沢5丁目東町会	5		○			○		○		1	会長敷地内				

団体名	その他		防災訓練等の実施							
	名称	場所	実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他	
					回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所
下代田東町会	発電機	町会防災倉庫	○		2	地区会館 富士中避難所	1	地区会館		
代沢2丁目北町会			○		3	東電寮広場 池之上小避難所				
代沢中町会	防災用水槽 ブリキバケツ	代沢中町会 防災倉庫	○		3	北沢八幡神社境 内、児童遊園 富士中避難所				
下代田西町会			○		3	せせらぎ公園 町内 代沢小避難所			放水訓練	せせらぎ公園他
代沢4丁目西町会			○		3	北沢川緑道 代沢小避難所				
代沢五丁目町会			○		3	町内 代沢小避難所				
代沢5丁目東町会			○		2	世田谷消防署北沢 出張所 代沢小避難所			防災訓練 見学	下北沢 保育園

団体名	防災マップ												
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							その他	
					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓		
下代田東町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	スタンドパイプ 置場
代沢2丁目北町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	
代沢中町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	AED、 防災倉庫、給水拠点、(英語版)
下代田西町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	AED、病院
代沢4丁目西町会	○				○		○					○	
代沢五丁目町会	○				○	○	○	○				○	AED、 裏面英語版
代沢5丁目東町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	スタンドパイプ 防災倉庫

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要支援者協定			
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
下代田東町会			2				○			○		
代沢2丁目北町会	2		1				○			○		
代沢中町会	1		1				○			○		
下代田西町会	1		3				○			○		
代沢4丁目西町会		○		○			○			○		
代沢五丁目町会		○		○			○			○		
代沢5丁目東町会		○		○			○			○		

団体名	避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)			
	日頃からの見守り活動	要配慮者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
下代田東町会	○	○			○						○	
代沢2丁目北町会	○					○				○		
代沢中町会	○				○	○		○				防災・防犯部員の災害時活動心得
下代田西町会	○					○				○		
代沢4丁目西町会	○										○	
代沢五丁目町会	○									○		
代沢5丁目東町会				○						○		

団体名	救出救助に係る資機材の配備															その他	保管場所	
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー			ツルハシ
下代田東町会	○																	
代沢2丁目北町会		○	1															
代沢中町会		○			1	6	3	50	3								油性ジャッキ 5	代沢中町会防災倉庫
下代田西町会		○		1	1	1	2	5	2								ガスポンベ 発電機	下代田西町会倉庫、 会長宅
代沢4丁目西町会		○	1				1		1									
代沢五丁目町会		○	1			1		12		1	1							町会倉庫
代沢5丁目東町会		○						9									ガスコンロ、 ポンベ	会長敷地内

団体名	食糧等の備蓄														その他	保管場所	備蓄品配布先
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク			
下代田東町会		○										1					
代沢2丁目北町会		○														池之上小内町会防災倉庫	
代沢中町会		○	100			12						2機 (灯光材 スタンド 式)	4		災害時炊き出し用釜(8kg用) 3升、 災害時用仮説トイレ	代沢中町会 防災倉庫	
下代田西町会		○	100					2					1			町会倉庫	
代沢4丁目西町会	○																
代沢五丁目町会		○	250	200	150 缶	30	1		16							代沢五丁目町会第二倉庫	代沢五丁目 町会管轄住民
代沢5丁目東町会	○																

団体名	その他の防災活動
下代田東町会	
代沢2丁目北町会	
代沢中町会	
下代田西町会	
代沢4丁目西町会	
代沢五丁目町会	
代沢5丁目東町会	

3. 代沢地区の課題と取り組み

課題1 自助の取り組みの強化 ～自分や家族の命を守るために～

■意見

- ・自宅の耐震化や家具の転倒防止対策の意識がまだ低い。
- ・家庭での備蓄が徹底されていない。
- ・木造密集地域では、火事を出さないための対応策が必要である。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・自宅の耐震化や家具の転倒防止について周知していく。
- ・家庭での備蓄物品の推進をPRしていく。
- ・家庭用消火器や感震ブレーカーの設置を推進する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・町会だよりに防災コーナー設け、テーマを決めてPRしていく。(下代田東町会)
- ・家族内の取り決めや備蓄品チェックといった呼びかけを検討する。(代沢2丁目北町会)
- ・商店会の街路灯に標語を掲示するなど、PRを継続して実施していく。(代沢2丁目北町会)
- ・防犯カメラの設置をきっかけとして安全意識を高めていく。(代沢2丁目北町会)
- ・各家庭での家具の転倒防止や備蓄品、消火器の設置を町会回覧などで繰り返し呼びかけていく。(下代田西町会)
- ・町会の子ども会などで備蓄品の情報などを、子ども達に伝えることによって、若い父母の世代に周知を図っていく。(代沢中町会)
- ・町会で備蓄物品購入のアンケートを行い、共同購入する仕組みを考えたい。(下代田西町会)
- ・防災用品、備蓄品等の共同購入をする仕組みを、代沢地区として考えたい。(代沢中町会)

課題2 共助の取り組みの強化 ～担い手・協力者を増やすために～

■意見

- ・隣同士の付き合いが希薄になってきている。特に若い世代の交流がない。
- ・代沢地区は、昼間の若年人口が少ない。支援者となる人手が不足する。
- ・安否確認や避難所運営の役割を担う町会構成員の高齢化が懸念される。
- ・地区内の事業所や私立学校との連携が希薄である。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・若い世代へ働きかけ、いざという時の担い手を増やしていく。
- ・地区内の事業者や学校、地域団体との連携を考える。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・避難訓練や備蓄倉庫の共有など、地元の企業や高校に働きかけていく。(下代田東町会)
- ・集合住宅の住民に、町会員であるという意識を啓発していく(下代田東町会)
- ・小学生・中学生にも参加してもらえるような防災訓練を目指していく(代沢2丁目北町会)
- ・町会に通常役員のほかに非常勤役員という制度をつくり、いざという時に、若い世代の父母に活動してもらい取り組みを広げたい。(代沢中町会)
- ・中学生、高校生が防災訓練に参加してもらえるような工夫をしていく。(代沢中町会)
- ・増えている外国人居住者に対し、町会加入を促すとともに災害時の協力を求めていく。(代沢中町会)
- ・新しいマンションの住人へは、管理組合と連携してアプローチしていく。(代沢中町会)
- ・昼間の発災直後の協力者として、地区内にある企業との交流を進める。(代沢4丁目西町会)
- ・町会として発災時防災訓練を実施するとき、商店街に声をかける。(代沢五丁目町会)
- ・町会が主催する座談会など、様々な年代の人が気軽に参加してもらえる機会をつくり、支援者を募っていく。(代沢五丁目町会)

課題3 安否確認と避難行動要支援者対策 ～命を救うために～

■意見

- ・避難行動要支援者協定を結んでいるが、本当に支援が必要と思われる人が手をあげているか不安がある。
- ・避難行動要支援者の情報を様々な団体が個別に把握している。いざという時の連携が明確でない。
- ・災害発生時の避難行動要支援者の具体的な担当が決まっていないところもある。
- ・災害発生直後は、全ての人が避難行動要支援者となる可能性がある。ご近所同士の安否確認の方法について考える必要がある。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・避難行動要支援者とは、平時から顔の見える関係を築いていく。
- ・いざという時の団体同士の連携について検討を行う。
- ・災害発生時の安否確認の方法について、担当やエリアなどを含めた具体的な取り決めを検討する。
- ・安否確認の協力者・支援者を確保する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・避難行動要支援者と普段からの繋がりの中で信頼関係を築き、緊急時に必要な情報を把握していく。(全町会)
- ・平時からの見守りを今後もしっかり続けていく。(全町会)
- ・避難行動要支援者の近所の方に協力をお願いしていく。(代沢中町会)
- ・災害発生時の安否確認が迅速に行われるよう、玄関への表示物の掲示などの方法を、区全体のとり組みとなるよう提案していく。(代沢中町会)

課題4 初期消火と救出救助 ～命を救うために～

■意見

- ・災害発生時、自分や家族の安全が確保できれば、近隣の人たちの命を救うために、倒壊家屋からの救出や初期消火という意識を育てる必要がある。
- ・スタンドパイプは誰もがすぐに使えるという状況ではない。鍵を開けられる人や操作できる人が限定されている。
- ・救出救助を行うための機材の配備場所を知らない人が多い。取扱い方法もわからない。
- ・初期消火や救出救助活動は一人ではできない。チームでの対応が必要である。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・消火器やスタンドパイプなどの消火器具を充実させ、設置場所や取扱い方法を周知していく。
- ・救出救助器具の配備を充実させ、配備場所や取扱い方法を周知していく。
- ・初期消火や救出救助の担い手を確保する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・学校行事やイベントの中で、消火器具や救助器具、救命法について学ぶ機会を設けるように働きかけていく。(下代田東町会)
- ・池之上小避難所運営訓練でのスタンドパイプ操作訓練は、参加者に人気があるので、今後も継続して実施したい。(代沢2丁目北町会)

- ・消火器具の取扱い訓練を行い、人材を育成していく。(全町会)
- ・救出救助器具の取扱い訓練を行い、人材を育成していく。(全町会)
- ・防犯パトロールなどの機会を利用して、街路消火器のチェックや消火栓の位置の確認を行う。(代沢4丁目西町会)
- ・ビル所有者が防災訓練を行うとき、町会も一緒に加わり、訓練を実施することによって人材育成につなげたい。(代沢5丁目東町会)

課題5 避難行動と避難場所の周知 ～助かった命を守るために～

■意見

- ・代沢地区の地形はアップダウンが多く、急な上り坂や階段など、車いすでは通行できない所もある。道幅も狭く、行き止まりも多い。
- ・住宅街のため、公園や広場等のスペースが少なく、一時集合所の確保が難しい。
- ・在宅避難者に対して、情報や食料などを提供する仕組みがない。
- ・正確な情報を把握するための手段の周知が必要である。
- ・代沢小学校の改築中の避難所について周知徹底を図る必要がある。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・避難所の場所や避難ルートの周知を図っていく。特に、代沢小学校改築中の避難所について周知を図る。
- ・一時集合所の確保を進める。
- ・在宅避難者等に対する支援について検討する。
- ・正確な情報を把握するためのツールの周知を図る。

■各団体の今後の取り組みの方向性

- ・町会だよりを使って避難所について周知していく。(下代田東町会)
- ・避難ルートの周知を図るため、表示や案内の設置について継続して取り組む。(代沢2丁目北町会)
- ・町会内の施設等に声をかけ、一時集合所の確保に努める。(全町会)
- ・代沢中町会では、一時集合所(北沢八幡児童遊園)を町会の臨時避難所とすることを認めてもらった経緯がある。北沢八幡神社への避難者の受入れ態勢について、充実を図っていく。(代沢中町会)
- ・在宅避難者が孤立しないため、情報や食料などを提供する仕組みを作っていく。(下代田東町会)
- ・避難行動の際には、ラジオの情報は頼りになる。普段から馴染んでいるラジオの普及を啓発していきたい。(代沢五丁目町会)
- ・防災マップを数年ごとにリニューアルして、町会全戸に配布する。(代沢五丁目町会・代沢5丁目東町会)